

広報ひこね

6/15



柳が美しい野田沼の出島



野田沼のほとりの辻さん

表紙では、「住みたい 住み続けたいまち」彦根の表情を写真で紹介しています。写真をお持ちでない場合は、**園情報政策課**広報係で撮影します。☎22-1411（内線431）へ気軽に連絡してください。

最近では沼の周辺が整備され、出島には中国の友好都市、湘潭市から贈られた柳が植えられています。緑の美しい夏ころまでは、特に気持ちのいい場所です。

沼の周囲は草に覆われ、魚をするると鯉、鮒、雷魚などが豊富にとれ、祭や正月のごちそうになったものです。圃場整備がすんで便利になりましたが、あこのころの風景は懐かしい思い出です。

昭和40年ころまでは、縦横に水路が通じる水郷地帯で、田舟を使って田へ行く家が多くありました。そのため、船着き場には、数十艘の田舟がつかわれていました。

野田沼は、甘呂町と須越町にはさまれた田の中にあります。大昔、犬上川と宇曾川から流れ出た土砂で、湖が封じ込められたものだそうです。

辻 善温さん（甘呂町）

表紙のことば